

令和 5年度 3学期保護者会 校長あいさつ

保護者の皆様こんにちは。

本日はお忙しい中、3学期末、年度の終わりに際しての保護者会にお越しいただきありがとうございます。

令和5年度が間もなく終わろうとしています。最後の最後まで気を抜かずに教育活動を行ってまいります。

この1年間、色々なお思いの事、多数あったこととは存じますが、保護者の皆様のご理解、ご協力のもと、なんとかここまで来ることができましたことにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

保護者の皆様ご承知のとおり、5月から「新型コロナウイルス」が5類に引き下げられましたので、今年度の教育計画は、予定どおり行うことができました。

この1年間で、生徒達は、確実な成長を遂げています。校長の私がそう感じるのですから、学級担任をはじめとする教員、そして保護者の皆様におかれましては、お子様の成長を強く実感していることと思います。しかし、成長とは、必ずしも無条件で喜ばしい事とは限りません。例えば、親に反抗するようになった、何でも話してくれていたのに、最近はろくに口も利かない、SNS でトラブルを起こしたりしないか心配である、クラスや部活動の仲間と人間関係がうまく築けているか心配であるなど、まさに中学生だからこそその心配もあるわけです。

そこで、意識していただきたいことを2つ申し上げます。

1つ目は、照れくさくても勇気を出して、我が子を心配していること、何かあったら相談に乗ることを伝えてください。一度、伝えてしまうと、照れくさい感覚は消え去り、普通に言えるようになります。

2つ目は、親の力だけは解決できない、分からないと思ったことが発生したら、一刻も早く、教員やスクールカウンセラー、もちろん外部の相談機関でも構いませんので、SOSを発信し、第三者の客観的な意見を聞くことをお願いします。諸外国では、困ったことが起きた時だけでなく、普段の生活の中で、自動車の定期点検を受けるのと同じように、心の定期点検として、カウンセリングを受けることは当たり前になっています。みなさんは、親という立場の他にも当然、一人の人間という立場、職業人としての立場など様々な立場で、様々な状況を抱えて日々生活を送っている訳ですから、心の定期点検として、教員、カウンセラーなどと遠慮せずに子育てのことを相談してください。

4月から3年生は上級学校での新しい生活が始まります。真光寺中の生徒は小学校1年生から9年間ずっと一緒というお子様が多く、中学校に入学するときも、大きなプレッシャーもなく、すんなりと中学校生活を送ることができました。上級学校に行くと、周りは知らない人ばかりで、改めて友達を作るにはどうしたらよいのかと悩み、声がかかれず、「学校つまらない」と言い出す子が毎年います。どうぞ、お子様が落ち込んでいるようでしたら、

「真中に相談に行けば」と言葉をかけてあげてください。真中があると思うだけで、力が湧いてくるよです。

1・2年生は、それぞれ2年生、3年生となるわけですが、引き続き、本校教職員は一枚岩で教育活動に全力で当たる覚悟でございますので、保護者、地域の皆様におかれましても、ご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

本日はこの後、担任や学年の職員から、1年間のまとめの話があると思います。忌憚のないご意見を頂戴するとともに、些細なことでも遠慮せず、何なりと相談していただければと思います。それではどうぞよろしくお願いたします。

令和6年3月7日 町田市立真光寺中学校 矢島 加都美